

30日死者統計

30日死者の状況

1 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者 区分	8月中			8月末		
	増減	比率	増減	比率		
24時間死者	11	+2	1.00	60	-10	1.00
30日死者	1	-2	0.09	19	-3	0.32
30日以内死者	12	±0	1.09	79	-13	1.32

○ 全国

死者 区分	7月中			7月末		
	増減	比率	増減	比率		
24時間死者	185	-42	1.00	1,346	-63	1.00
30日死者	43	+11	0.23	293	+15	0.22
30日以内死者	228	-31	1.23	1,639	-48	1.22

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

2 概要

8月末の県下の「30日死者」は19人（-3人）、「24時間死者」は60人（-10人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は79人（-13人）であり、「24時間死者」の1.32倍となっている。

3 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 神戸10人（52.6%）、阪神5人（26.3%）、西播2人（10.5%）、但馬1人（5.3%）、淡路1人（5.3%）で発生している。
- 状態別 自転車乗用中9人（47.4%）、歩行中3人（15.8%）、自動車乗車中2人（10.5%）、自動二輪乗車中2人（10.5%）、一般原付乗車中2人（10.5%）となっている。
- 年齢層別 65歳以上が11人（57.9%）、25～64歳が7人（36.8%）、16～24歳が1人（5.3%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が10人（52.6%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が14人で、73.7%となっている。